

■……株式市場（東京）は大騒ぎでした。さる4月10日、平均株価が2万円を回復しましたから、バブル崩壊後の長期低迷から、ここへ来て日本経済は再生に向け一歩前進、という訳ですか。2000年4月以来で約15年ぶり、円安進行で企業業績も改善され、国内外の資金が市場に流入したせいでしょう。

国際通貨基金（IMF）が発表した世界経済見通しによれば、2015年の日本の実質経済成長率を1・0%、16年を1・2%と予想し、さる1月時点からいずれも0・4%の上方修正しています。中国6・3%インドの7・5%の見通しには驚きですが、わが国はまあ、そこそこにご満足しておくべきですか。

■……財務省が4月末発表した貿易収支（統計）によると、2293億円の黒字となりました。輸出から輸入を差し引いた収支ですが、黒字そのものは2012年6月以来、2年9カ月ぶりになるそうです。輸出が相変わらず堅調に伸びているのと、今回はなんといっても原油価格の下落が大きな要因でしょうね。輸出が

8・5%も増えたのは結構なこと、7カ月連続の増加。米国向けの自動車のほか、半導体などの電子部品、金属加工機械の伸びが目立ち、技術立国ニッポンが健在というアカシのよう。

■……もう一つ結構な話は、東京商工リサーチが発表している全国の企業倒産件数（負債1千万円以上）が減って来ていることでしょう。前年度に比べ9・4%減の9543件、6年連続で減小し、1990年度以来24年ぶりに1万件を割り込んだようです。大型倒産（一十億円超）が減り、金融機関の貸し出し姿勢も積極的だったことが要因のようです。数ある経済情報の中でも、この倒産件数の増減が、やはり一番気になるところ。経営者の能力など様々な要素がからむ企業倒産ですが、これが減少、と聞くと他人事ならず大いに喜んでしまいます。

■……外国人旅客が全国的に増えているようで。一寸した都市の繁華街でも異国の言葉が飛び交い「へー、そんなに外国からのお客さんが日本へ」と驚きます。新関西国際空港の例を見ても国際線の外国人旅客は、2014年度が前年より4割も増え

て過去最多の699万人に達したそうです。日本人利用客630万人を大幅に上回りました。外国の人たちとの交流の場が日常的にも増えて行くんでしょね。これからは……。

■……神社、仏閣は観光地には必ずあって、旅人たちの必見の場になっています。中国、韓国などアジア系の人も増えています。しかしこれまで見たことも、聞いたこともないいたずら（？）が増えているようです。奈良県内の8寺社で、さい銭箱付近や支柱などに油のような液体がまかれていた。お寺や神社本体に火でもつけようか、と疑いたくもありませんね。ある関西の市では、市内の指定文化財建造物に防犯カメラを新設して見張りを強めているようです。宗教的な建造物は、日本人が無宗教といわれても常に心の静寂をもたらしてくれるもので、その場に足を運ぶことで安心、安全の境地に満たされるものです。被害にあった奈良のお寺の防犯カメラには、不審な男が本堂のさい銭箱近くにかがみ、手をかざして液体をまくような仕草をしているのが見つかったそうです。もうつかまるのも時間の問題といえるでしょう。

月刊公論 MONTHLY
KORON

6月号 第48巻6号

平成27年6月1日発行 毎月20日発売
本体価格848円（税別） 送料86円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
発行所 株式会社社界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購読をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。